

命為依相

産経新聞

平成28年(2016) 日刊J26467号

8|31 [水]



産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞大阪本社 2016
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57
☎ 大阪(06)6633-1221(大代表)

清朝最後の皇帝、愛新覚羅溥儀の実弟、溥傑の毛筆による書体デザイン(フォント)のソフト「相依為命」を、システム会社、スキルインフオメーションズ(大阪市東淀川区)が9月1日に発売する。溥傑は流れるような書体を持ち味で日本、中国にファンが多いという。

ソフトをパソコンにインストールすれば、溥傑のフォントで手紙などを書ける。同社は遺族らの協力を得て溥傑が書き残した約300字の漢字を分析。デ

毛筆フォント、1日発売

ラストエンペラーの弟 溥傑の書体甦る

デジタル技術を用いて、ひらがなの意味で、終戦後に戦犯としてや漢字など3千字以上を完成させた。

「相依為命」は互いに寄り添い協力して命をつないでいくと、好に一生をかけた父の真心が次第に広まるのではないかと期待せず

にいられます」との言葉を寄せている。

同社の専用サイトや紀伊国屋書店梅田本店などでCD-ROM形式で販売する。8640円。



溥傑のフォント製作に協力した二木崇さん。かつて自身の父に贈られた溥傑の書を持つ。大阪市東淀川区